

行動変化の収穫祭

”何とかなることはない時代”

- 1) サバイバルへの再挑戦(サバイバルゲーム)
- 2) 変化できるものだけが生き残る、それがサバイバルの掟

■自分の行動が人間関係をつくる(仕事は、人間関係)

■他人に与える自分の影響力に気づく

← もうひとりの自分で自分を観る

どうしても自分で観ることができなければ、観てくれる人を。フィードバックを求める、上司と部下の理想関係

■感情は論理に勝り、想像力は現実に勝る

← 夢と希望をもつ

■行動から自分の新たな可能性に気づく

← まず動いてやってみる



3) 収穫祭 パート I

「リーダーの望ましい行動はこうなった」

- ① なぜ上司は、この望ましい行動を選んだのか？ 思いを巡らす
- ② 上司からその訳を打ち明ける
- ③ 望ましい行動をしてみようだったのか？
- ④ 他のメンバーはどのように見守っていたのか？

4) 収穫祭 パート II

「自分の望ましい行動はこうなった」

5) グループ発表

6) 「できていますねカード」獲得数の発表・表彰

■行動変化の秋祭り“気づき”グループ発表

- ・気持ちの良い挨拶ができると、いいコミュニケーションがとりやすい
- ・情報共有、コミュニケーションを多く取ることで円滑に仕事が進む
- ・望ましい行動ができたことで、仕事上で色々と成果が出た
- ・目標を決め、他人に対してその目標をオープンにすると行動が変わる
- ・「見られている」という意識を持つと、行動が変わる
- ・問題意識を持つと行動が変わる
- ・自覚がない行動でも他人に影響を与えている
- ・考えを宣言、見える化し、更に行動することで効果アップ
- ・行動を起こすことで、視野が広がる
- ・相手の行動から自分の行動が変わったので、

「自分が変われば相手が変わる」

- ・円滑に仕事を進めるには、状況把握が大切、それに必要なのは情報収集と共有
- ・仲間の行動にアンテナを立て、いい事は褒め、悪いことは注意などして、どう映っているか伝える事が大切

■「できていますねカード」優勝者：松本圭司(13枚)さん

■社長特別賞：譜久原久美子さん

★いつも夢工場をめざして…

